

交通安全は家庭から

子どもは成長とともに行動範囲が広がっていきます。交通ルールを守る習慣を身につけていないと大変危険ですので、保護者も一緒に交通ルールを確認しましょう。

小学1年生は、近いもの、大きなものが怖いと言う時期です。視野も大人と比べて半分しかありません。大人には見えていても子どもの背丈では見えないこともあり、それを踏まえた指導が必要です。子どもの目線に合わせて、保護者が一緒に通学路を歩き、判り易く繰り返し教えます。必ず歩道や路側帯を歩き、歩道がない道路では道路の右側を歩き、横断歩道があるときは必ず利用します。いつも通り慣れた交差点でも「止まる→見る→待つ」を行い、どの方向からも車がこない時に渡ることを教えましょう。